

みちづくり計画（H28～H32）の進行管理・評価の進め方について

1. 趣旨

目指すエリアの姿の実現に向けた実効性の確保と市民への説明責任

2. 進行管理・評価の流れ

H27	H28	H29	H30	H31	H32
計画策定	●	●	● ☆ 中間評価	●	● ☆ 最終評価

●: 進行管理
 ☆: 評価

評価の対象は「前年度までの進捗+評価年次の進捗（評価時点まで）」とする。

3. 進行管理の方法

(1) 各事業の進捗管理

5箇年の実行計画に対する進捗と達成度を整理する。（資料2参照）

(2) エリアごとの進捗管理

各エリアの目標に対して、当年度の進捗や達成度を整理する。その結果について、事務局より説明し、神戸市みちの懇談会が総括する。（資料3参照）

4. 評価について

(1) 指標による評価 [中間評価、最終評価]

目標に対するアウトカム指標により評価する。

エリア目標	考えられる評価指標（例）	単位
①誰もが歩きやすいみち	・代表するベンチにおける朝・昼・夜の使用時間または人数	h, 人
②交通安全の確保	・モデル交差点での事故件数	件/年
	・通学路での児童の事故件数	件/年
	・生活道路での自動車走行速度	km/h
③安全で快適な自転車利用環境の形成	・主要な道路での自転車通行の車道分担率	%
	・主要なピーク時間帯の放置自転車数	台
	・自転車に関わる交通事故件数	件/年
④六甲山エリアの防災対策	・年間の降雨量・冠水・土砂災害等により通行止めとなった距離・日数	日・km/年
⑤渋滞改善、アクセス強化	・自動車交通量（現道、バイパス）	台/12h
	・主要な渋滞交差点での損失時間	km・h

(2) 市民アンケート：最終評価

ネットモニターを対象とした市民アンケートにより、日常感じている道路の課題を調査する。

参考：平成 27 年度ネットモニターアンケート項目

- ① 自転車の通行上の安全が確保されていない
- ② 街灯が少なく、夜になると暗い
- ③ 路上駐車が多い
- ④ 歩道にでこぼこや段差、波打ちがあり通行しにくい
- ⑤ 歩道がなく危険
- ⑥ 道路が狭い（緊急車両などが通行困難）
- ⑦ 放置自転車が多い
- ⑧ 事故が多い
- ⑨ 電柱や看板、ゴミなどの障害物がある
- ⑩ 騒音や振動などの問題がある
- ⑪ 渋滞が発生している
- ⑫ 地震やがけ崩れによる通行止めが不安
- ⑬ 目的地までの道路が完成していない